

# 組織目標評価報告書（平成26年度）

部局名： グローバル人材育成院

目 標	目標の達成状況(成果)及び新たに生じた課題への取組 (部局での検証とそれに対する取組)
<b>①教育領域</b>	自己評価
①-1 目標 「④センター業務」に記載	
①-2 目標とする(重要視する)客観的指標	
<b>②研究領域</b>	自己評価
②-1 目標	
②-2 目標とする(重要視する)客観的指標	
<b>③社会貢献(診療を含む)領域</b>	自己評価
③-1 目標	
③-2 目標とする(重要視する)客観的指標	
<b>④センター業務</b>	自己評価
④-1 目標 ・グローバル人材育成特別コースの運営を着実に進行。  ・平成27年度からグローバル人材育成特別コースの定員を倍増(50人→100人)する。  ・グローバル人材育成特別コースを履修する学生以外の学生に対し、「自己のグローバル化」に関する意識の啓発を図る。	
④-2 目標とする(重要視する)客観的指標 グローバル人材育成特別コースの定員と現員 グローバル人材育成特別コースの学部等別履修申請者数 グローバル人材育成特別コースのカリキュラム表、シラバス、履修案内 グローバル人材育成特別コースの開設科目別履修登録者数 グローバル人材育成特別コースのサマープログラムと海外留学・インターンシップの整備状況 グローバル人材育成特別コースのグローバル・コア2(各学部開講科目)の整備状況 グローバル人材育成特別コースにおけるICT活用状況 グローバル人材育成特別コース履修者に対するアンケート グローバル人材育成特別コース履修者のTOEIC-IP点数 グローバル人材育成特別コース履修者の単位修得状況	
<b>【総括記述欄】</b>	
<p>文系学生が順調に留学しているのに対し、理系学生は学部の専門教育の都合上、学部生の時に留学・インターンシップに行くことが困難であるため、コース修了要件の留学(インターンシップ)期間の変更により、夏季休業中や、春季休業中に留学ができるように制度を変更した。また、学生の海外インターンシップ参加の一助とすることを目的として、平成27年度版のインターンシップの手引きを作成した。平成27年度ではこれらの試みの検証を行い、理系学部の学生の留学・インターンシップ参加者増加を促進させたい。</p> <p>履修アドバイザーからコース第2期生の「自己のグローバル化」に関する意識が低いとの指摘があり、次年度はコース生の「自己のグローバル化」に関する意識の啓発に重点を置き、履修アドバイザーの増員とグローバル人材育成院専任教員の配置による留学アドバイザー制を強化し、留学に必要なTOEFL iBT、IELTSの試験に対応した新設授業科目の開発や、履修科目の選択肢を増やす等カリキュラムの充実を検討し、コース生の意識の啓発を図りたい。</p>	